

写真展

松並木の風景



岡嶋栄二氏撮影（昭和30年代前半）



海老原龍夫氏撮影（昭和46年）

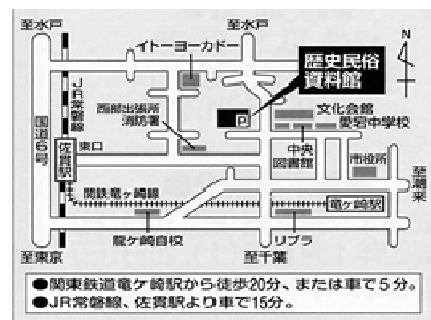
平成25年 6/29(土)～7/28(日)

■開館時間 午前9時～午後5時 ■入館料 無料

■休館日 毎週月曜日(7/15は開館し16,17日休館)

龍ヶ崎市歴史民俗資料館

〒301-0004 茨城県龍ヶ崎市馴馬町2488 Tel.0297-64-6227



写真展 松並木の風景

戦国時代、龍ヶ崎を水害から守るために、町並みに沿って堤防が築かれました。江戸時代になると、補強のために松が植えられ、やがて松の巨樹が連なる並木道となりました。

大正～昭和期には、絵葉書や観光案内などに紹介され、松並木は、龍ヶ崎の名所として、人々に親しまれてきました。

こうした経緯から、昭和 49 年（1974）に、松が市の木として制定されましたが、空しいことに、松くい虫や環境の変化によって、現在、松並木は、その姿をとどめてはいません。

この写真展では、昭和 30～40 年代に市内の写真家と愛好家によって撮影された松並木の貴重な写真を紹介いたします。懐かしいふるさとの風景を思い起こしていただくとともに、自然へのいたわりや愛しみの思いが広がれば幸いです。



(海老原龍夫氏撮影)



(佐藤有氏撮影)



(佐藤有氏撮影)



(海老原龍夫氏撮影)



(岡嶋栄二氏撮影)